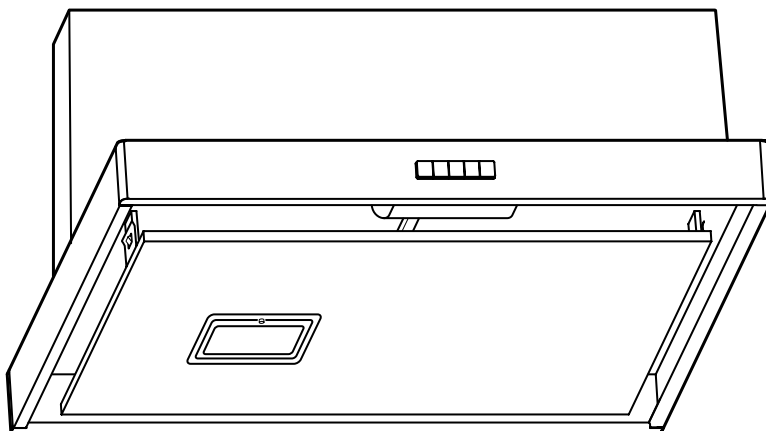
施工業者様用

Panasonic®

工事説明書

スマートスクエアフード

品番　FY-6HZC2　FY-7HZC2　FY-9HZC2

もくじ

・この工事説明書に記載されていない方法で施工され、それが原因で故障を生じた場合は、商品の保証を致しかねますのでご注意ください。

取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告

■仕様変更・改造は絶対にしない

分解禁止

火災・感電・けがの原因となります。

■メタルラス、ワイヤラス、または金属板張りの木造造営物に金属製ダクトを貫通する場合、メタルラス、ワイヤラス、金属板と接触しないように取り付ける

漏電した場合、火災の原因となります。

（電気設備技術基準
省令　第59条
解釈　第167条 3項）

■D種接地工事をおこなう

アース線接続

故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

■交流100ボルト以外で使用しない

禁止

火災・感電の原因となります。

■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する

落下により、けがをするおそれがあります。

■部品は確実に取り付ける

落下により、けがをするおそれがあります。

■配線工事は、電気設備技術基準や内線規程に従って、確実におこなう

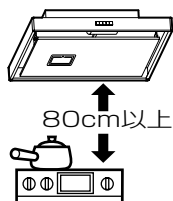
誤った配線工事は、漏電、感電や火災のおそれがあります。

■本体は指定の方法で確実に取り付ける

落下により、けがをするおそれがあります。

安全上のご注意（続き）

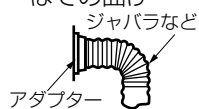
お願い

■ガス調理機器、電気調理機器の真上、80cm以上の位置に取り付けてください。

火災予防条例ではフィルターの下端がガス調理機器、電気調理機器の真上80cm以上必要です。
（高く取り付けますと吸い込みが悪くなります。）

■次のような配管工事はしないでください。

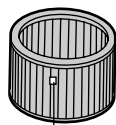
（吐出口のすぐそばで曲げると、シャッターが開かなくなり正しく排気されません。）

(1)極端な曲げ

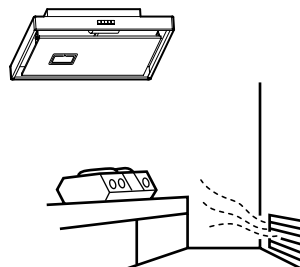
(2)吐出口のすぐそばでの曲げ

(3)多数回の曲げ

(4)接続ダクト径を小さくする。

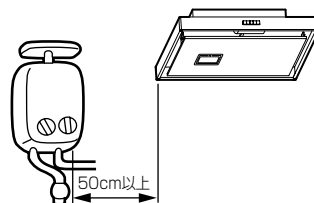
■羽根の回転バランスをとるためにバランサー（重り）が付いている場合がありますが、絶対に外さないようにしてください。

異常や故障の原因となります。

■空気の取り入れ口（給気口）を設けてください。

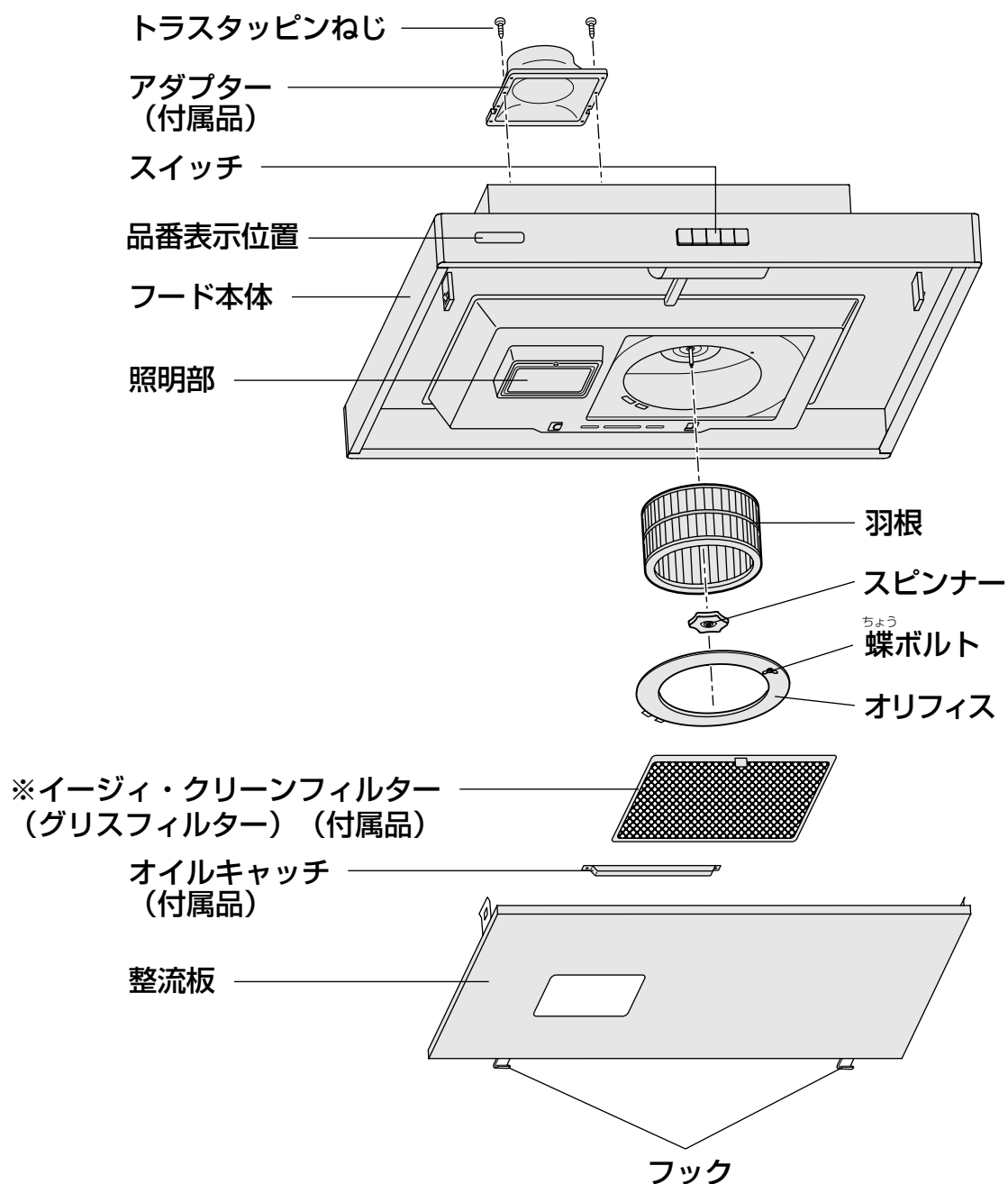
（**開口面積100～150cm²が目安となります。**）

給気電動シャッターを使わない場合は排気性能確保のため、空気の取り入れ口を設けてください。

■羽根をはずした状態でモーターを回転させないでください。

回転数が上がり、モーターが焼きつくことがあります。

■ガス湯沸器は側方に離して取り付けてください。

■スマートスクエアフード本体とダクトは、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆ってください。

詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください。

各部の名前

※印部品に特殊処理（はっ水塗装）をおこなっています。
塗装部分に直接さわりますと、指紋がつくことがあります。
施工の際は、手袋の着用をお願いします。

外形寸法図

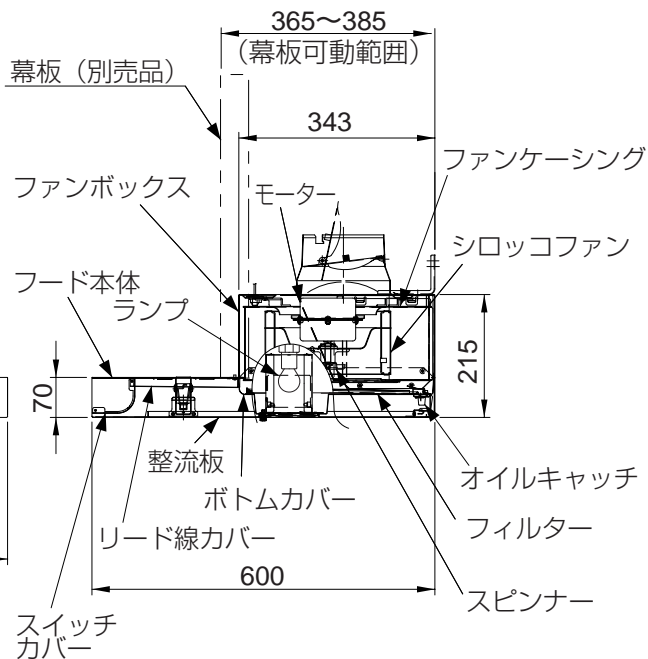
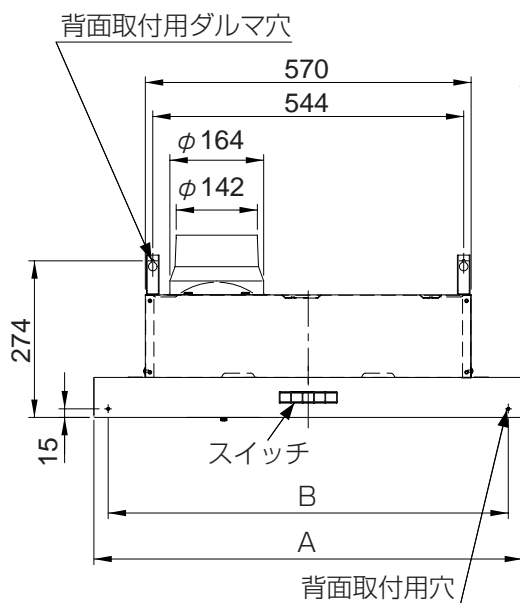
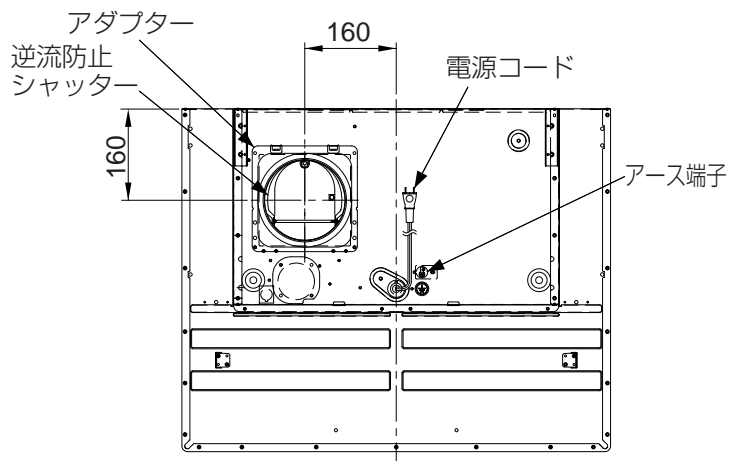
〔単位：mm〕

■接続ダクト（市販品）

呼び径	種　　類
φ150（6番）	鋼板スパイラルダクト

	A	B	質量（kg）
FY-6HZC2	600	550	12.5
FY-7HZC2	750	700	13.5
FY-9HZC2	900	850	14

背面取付用ダルマ穴
570
544
φ164
φ142
274
15
スイッチ
B
A
背面取付用穴

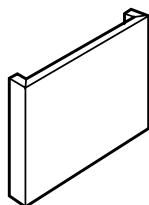
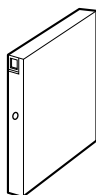
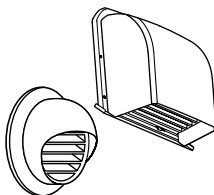
365～385
（幕板可動範囲）
幕板（別売品）
343
ファンケーシング
ファンボックス
モーター
シロッコファン
フード本体
ランプ
215
70
整流板
ボトムカバー
リード線カバー
オイルキャッチ
フィルター
600
スピンナー
スイッチ
カバー

付属品・別売品

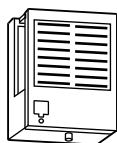
お願い この製品専用の付属品あるいは指定のもの（別売品）以外は使用しないでください。

付属品

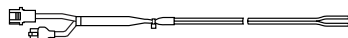
- ●**パッキングテープ**（ダクト接続用）……………………… **1個**
- ●**トラスタッピンねじ**
  - ・アダプター固定用（φ4×8）… **2個**
  - ・本体固定用（φ4×40）…… **4個**
- ●**トラス転造ねじ**（φ5×8）…… **4個**
- ●**オイルキャッチ** …………………… **1個**
- ●**フィルター** …………… **1個**
- ●**アダプター** …………… **1個**
- ●**取付金具** ……………… **2個**

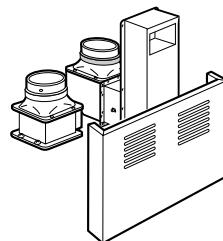
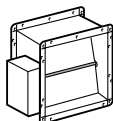
別売品　詳細についてはカタログを参照してください。

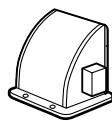
〔幕板〕

〔横幕板〕

〔パイプフード〕

〔ベントキャップ〕

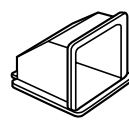
〔給気電動シャッター〕

〔給気電動シャッター連動用コード〕

（給気電動シャッターを使用される場合）

FY-WW001

FY-WW004

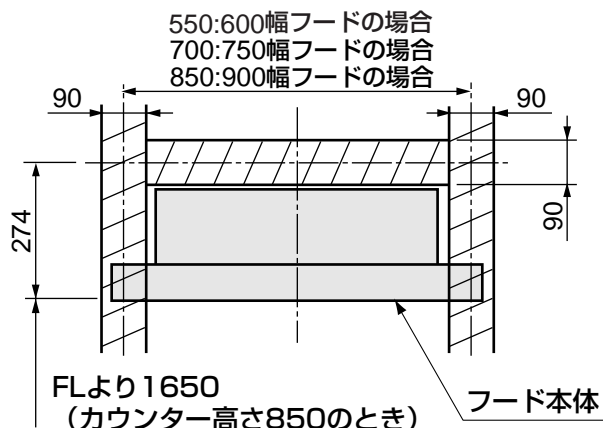
〔同時給排ユニット〕

〔電動シャッター〕

FY-MSSJ06

〔電動シャッター付きアタッチメント〕

FY-AE605

〔アダプターアタッチメント〕

FY-AS615

取り付け前に

1.フード取り付け用桟工事

1、フードの取り付け用桟は下図のように固定します。　〔単位：mm〕

■本体は、十分強度のあるところにしっかり取り付け、強度不足の場合には補強する

落下により、けがをするおそれがあります。

2、取り付け用桟は厚み30mm×幅90mm程度のもの（できれば防虫処理したもの）を使用してください。

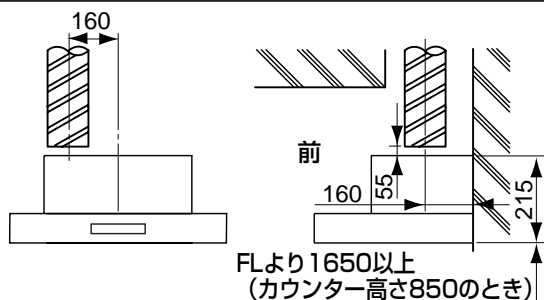
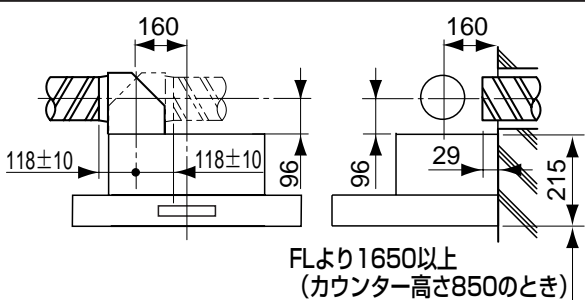
3、フードの質量は、600幅……12.5kg
750幅……13.5kg
900幅……14kg　です。
十分耐える取り付けをしてください。しっかり取り付けられていないと、騒音、振動の原因になります。

4、フードは、水準器を使用して水平に取り付けてください。（0.5度以下）傾いて取り付けますと、オイルキャッチに油がたまらないおそれがあります。

2.ダクト配管について

1、製品外形寸法図、または下図の吐出穴位置に壁穴をあけてください。

2、上方排気の場合は、φ150のスパイラル管を下図のような位置にセットして周囲を仕上げてください。
側方排気の場合は、L型ダクトを組み合わせたアダプターの位置に φ150のスパイラル管をセットして周囲を仕上げてください。

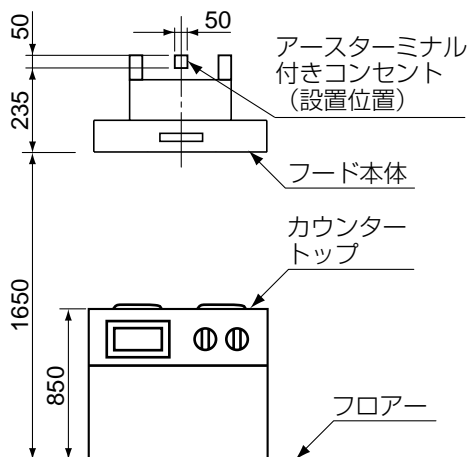
上方排気の場合

後方・側方排気の場合

3、後方排気の場合は、下記数値以上の壁厚の所に本体を取り付けてください。

防火ダンパー付きパイプフード使用時	190mm以上
防火ダンパー無しパイプフード使用時	110mm以上

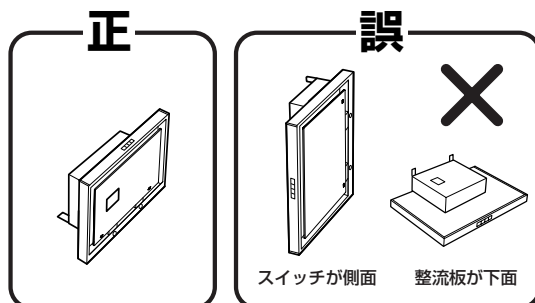
※アダプターのシャッターがパイプフードに当り完全に開かない場合があります。

3.電気工事について　※電気工事は電気工事業者にご依頼ください。

電気工事のご注意

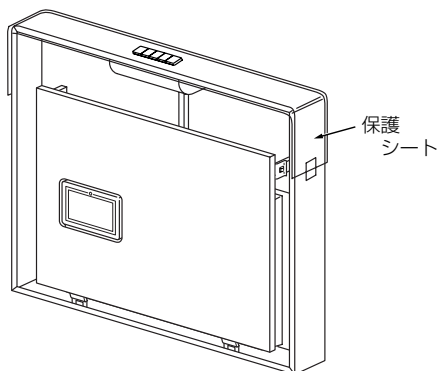
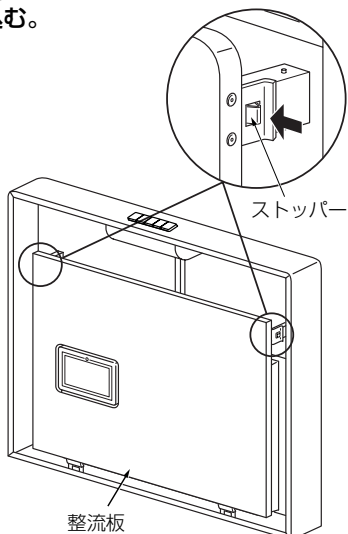
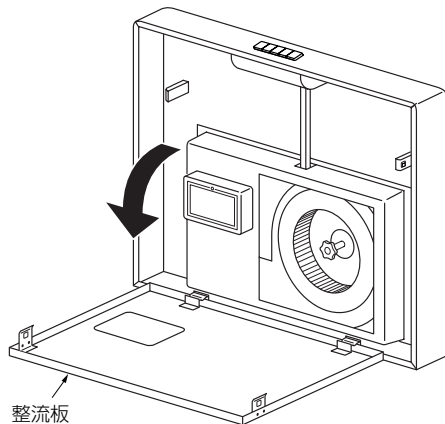
●本機はa.c.100V仕様です。
●本体を設置する場所の、図の位置にアースターミナル付きコンセントを設置してください。
●アース工事を必ずおこなってください。

4.開梱の際は

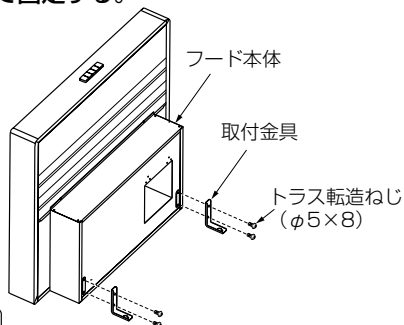
1．本体に取り付いている包装材（段ボール、テープ）を必ず取り外してください。
※フード前面（スイッチ操作面）に貼ってある保護シートは取り外さないでください。

2．右図のように正しい置きかたをしてください。
※誤った置きかたをしますと傷や破損の原因となります。

施工方法 以下の手順に従って施工してください。

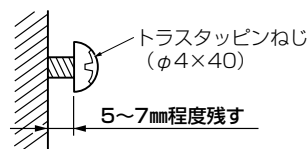
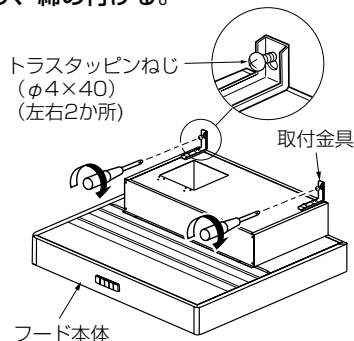
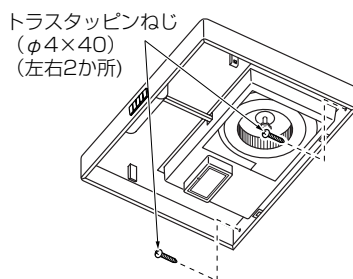
1.整流板をはずす

お願い

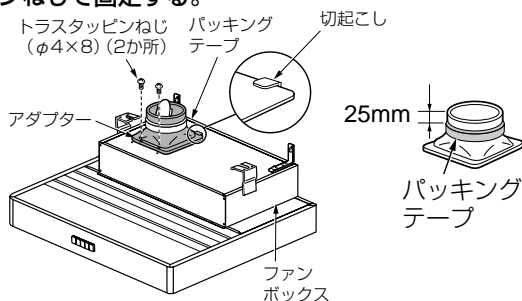
フード前面に貼ってある保護シートは施工完了まで取りはずさないでください。

①整流板を固定している左右のストッパーを指で押し込む。

②整流板をゆっくり下げ、整流板をはずす。

2.フード本体の取り付け

①取付金具をフード本体にトラス転造ねじ（各2個）で固定する。

お願い

ねじは締め付けトルク2N・m（20kgf・cm）以下で締め付けてください。

②背面取付用ダルマ穴位置（2か所）にトラスタッピンねじ（φ4×40）を仮止めする。

③フード本体に固定した取付金具のダルマ穴を仮止めしたトラスタッピンねじ（φ4×40）に引っ掛け、締め付ける。

④トラスタッピンねじ（φ4×40）でフード本体を固定する。

3.アダプターの取り付け

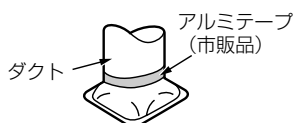
上方排気の場合

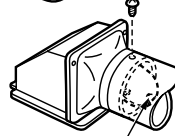
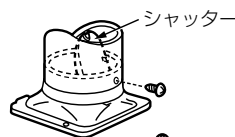
①アダプターにパッキングテープ（ダクト接続用 付属品）を貼り付けた後、ファンボックスの切起こし（2か所）にアダプターを差し込み、トラスタッピンねじで固定する。

②ダクトと接続した部分にアルミテープ（市販品）を巻きつけ、空気もれを防ぐ。

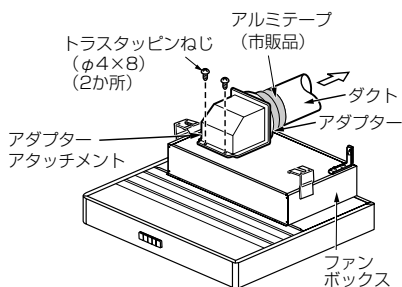
後方・側方排気の場合

①アダプターにパッキングテープ（ダクト接続用付属品）を貼り付けた後、アダプターアタッチメント（別売品）へアダプターをトラスタッピンねじ(2か所)で固定する。

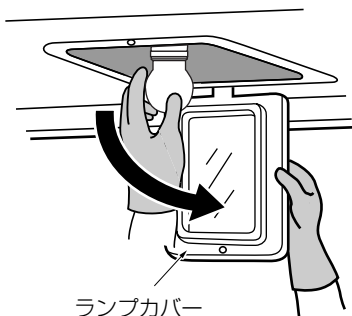
②アダプターアタッチメント（別売品)をファンボックスの切起こしに差し込み、トラスタッピンねじ（2か所）で固定する。

③アダプターとダクトを接続し、接続した部分にアルミテープ（市販品）を巻きつけ、空気もれを防ぐ。

お願い

●ダクトをねじ止めする場合は、長さ10mm以下のねじを使用し、シャッター可動部にあたらないように固定してください。

●シャッターがアダプターにテープで固定されている場合は、テープを取り除いてください。

●アダプターのシャッターが下図の方向に開くように、ファンボックスに取り付けてください。

●ダクトと可燃物の距離は、10cm以上離すか、もしくは下記の処理をしてください。
・5mm以上の不燃材料で被覆し、かつ50mm以上離す。
・50mm以上の不燃材料で被覆する。
詳しくは所轄の消防署に問い合わせてください。

4.電球の確認

ランプカバーを開ける。

電球のゆるみがないことを確認した後、
ランプカバーを固定してください。

お願い

ツマミをゆるめると、ランプカバーがはずれる場合がありますので、手で押さえてください。

5.電源の接続

警告

■D種接地工事をおこなう

アース線接続

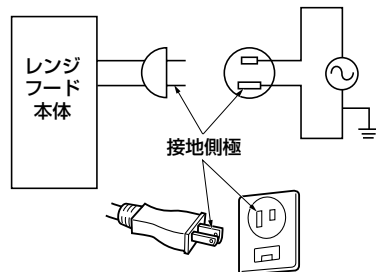
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

■電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

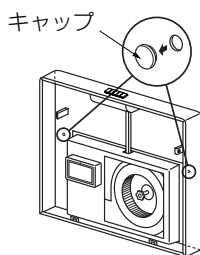
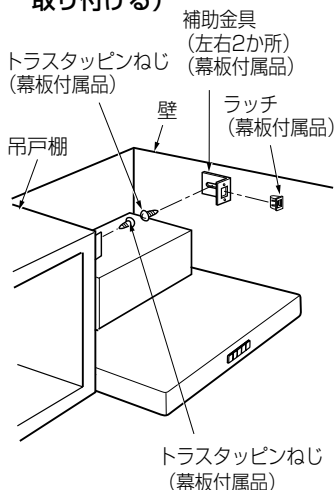
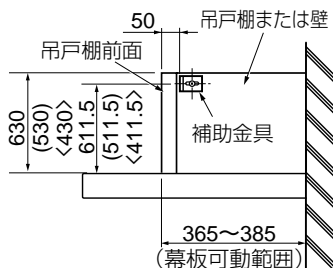
●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

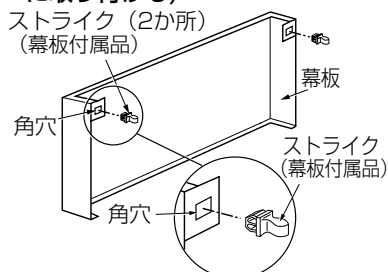
●万一の感電防止のため必ずファンボックス天面のアース端子を使用してアース接続工事をしてください。

●電源プラグをコンセントに差し込みます。

●屋内配線が正しいか極性確認をおこなってください。

6.幕板を取り付ける場合

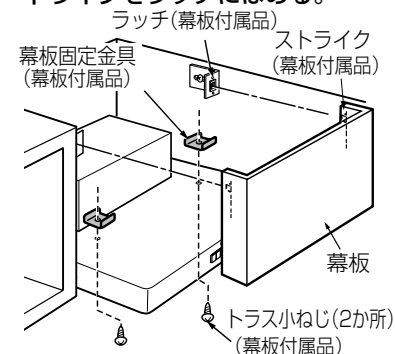
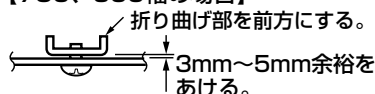
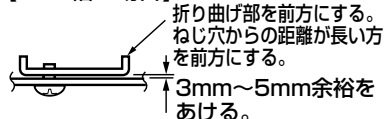
幕板の取り付け

①キャップをはずす。

②補助金具にラッチを取り付け、左右の吊戸棚または壁にねじで固定する。
(補助金具取付面とフード本体側の側面を合わせて取り付ける)

補助金具取付位置

※( )内寸法は、幕板高さ530mmの幕板を取り付ける時の寸法です。
< >内寸法は、幕板高さ430mmの幕板を取り付ける時の寸法です。

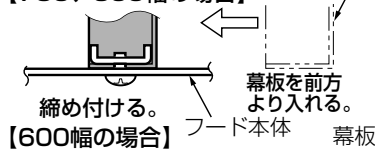
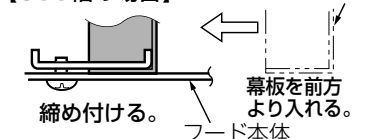
③幕板裏面の角穴にストライクを取り付ける。(ストライクは縦向きに取り付ける)

④フード本体内側より幕板固定金具(2個)を仮止めし、幕板の上部ストライクをラッチにはめる。

【750、900幅の場合】

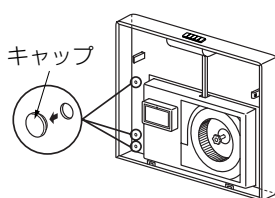
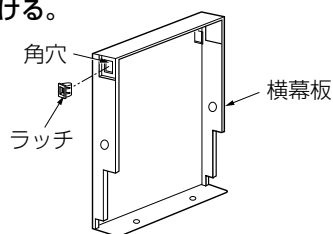
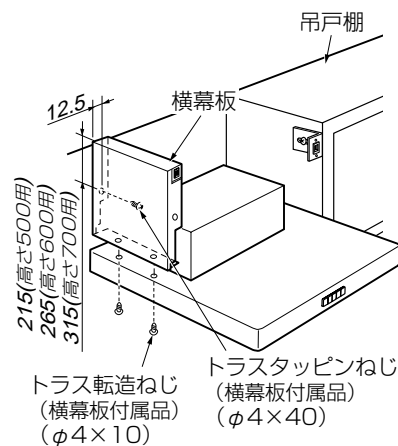
【600幅の場合】

折り曲げ部を前方にする。ねじ穴からの距離が長い方を前方にする。
3mm〜5mm余裕をあける。

⑤幕板固定金具とフード天面の間に幕板を前方から入れ、トラス小ねじを締めつける。

【750、900幅の場合】

幕板
締め付ける。
幕板を前方より入れる。
フード本体

【600幅の場合】

※整流板をはずして作業する。

横幕板の取り付け

①キャップをはずす。

②横幕板の角穴にラッチを取り付ける。

③横幕板をねじで固定する。

④幕板の角穴にストライクを取り付ける。(ストライクは縦向きに取り付けてください。)

⑤幕板のストライクを横幕板のラッチに差し込み(「パチン」と音がするまで)、幕板を取り付ける。

7.フィルターの取り付け

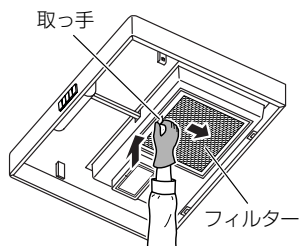
①フィルターの取っ手を持ち、壁側に押す。

②押し上げて取り付ける。

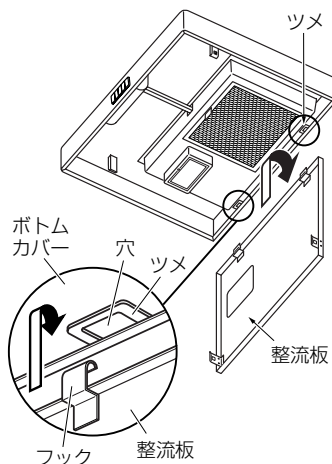
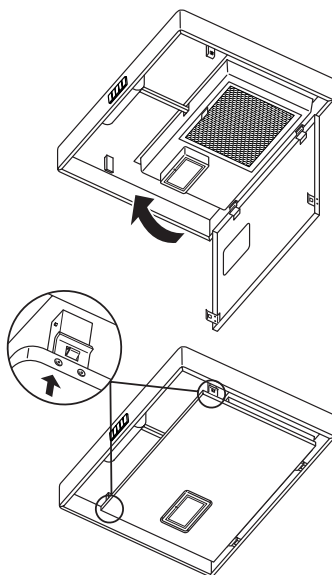
8.オイルキャッチの取り付け

①オイルキャッチのツメをボトムカバーの溝に差し込む。

②もう1方のツメをボトムカバーの反対側の溝に差し込む。

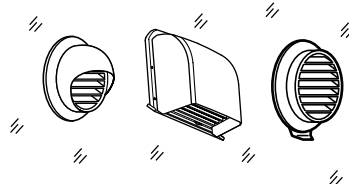
※「オイルキャッチ」の刻印を手前に向けて取り付けてください。

9.整流板の取り付け

①整流板を両手で持って、

②フックの穴をボトムカバーのツメに手前側から掛ける。

③整流板を両手でおこして、ストッパーにきちんとはまるまで押し上げる。

お願い

●整流板がきちんと固定されているか確認してください。
固定されていないと落下するおそれがあります。

10.外壁面の施工

●外壁面には、パイプフードまたはベントキャップを現場にて調達し、付属の施工説明書に従って取り付けてください。

11.動作確認

●分電盤のブレーカーを入にして、本体操作スイッチでの動作を確認してください。

本体側	チェック欄
弱	
中	
強	
照明 切/入	
切	

お願い

●運転時、排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
※羽根は回っていますか？
●異常な騒音・振動がないことを確認してください。
●照明が点灯しない場合は、電球にゆるみがないかを確認してください。
●フード前面の保護シートをはがしてください。

シャッターの取り付け

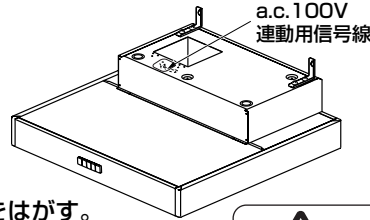
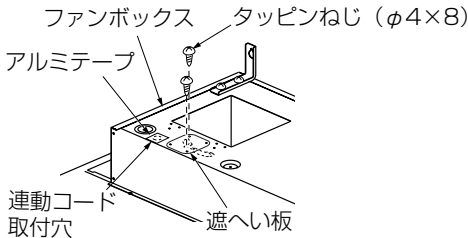
本フードには、運転連動させてシャッターを開閉することができる連動用信号線がついています。

運転モード	弱	中	強
連動用信号線出力	a.c.100V	a.c.100V	a.c.100V

a.c.100V
連動用信号線

- ●接続は「電気設備技術基準」や「内線規程」に従って確実に接続してください。
- ●連動用シャッターの施工は機器に付属の工事説明書にもとづき確実におこなってください。

①タッピンねじをはずし、遮へい板を取りはずす。
②フード天面の連動用コード取付穴のアルミテープをはがす。

ファンボックス
タッピンねじ（φ4×8）
アルミテープ
連動コード
取付穴
遮へい板

⚠注意

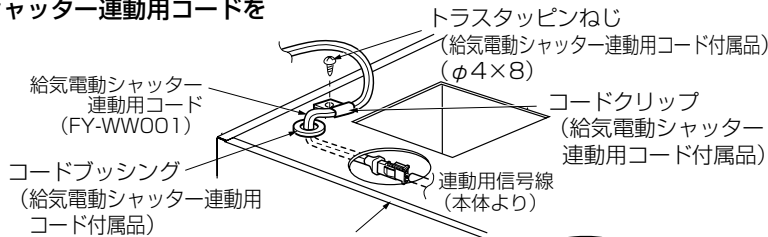
■接続するシャッターはそれぞれ5W以下のものを使用する

火災や機器故障の原因となります。

A 給気電動シャッターのみを取り付ける場合

図のように給気電動シャッター連動用コードを取り付ける。

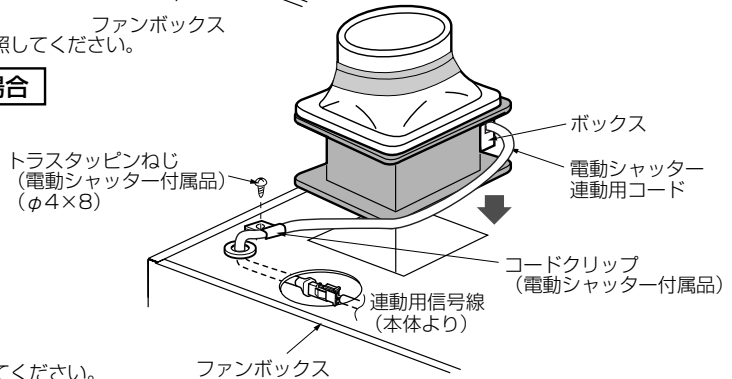
運転時にシャッターが開きます。

トラスタッピンねじ
（給気電動シャッター連動用コード付属品）
（φ4×8）
給気電動シャッター
連動用コード
（FY-WW001）
コードクリップ
（給気電動シャッター連動用コード付属品）
コードブッシング
（給気電動シャッター連動用コード付属品）
連動用信号線
（本体より）
ファンボックス

※詳細は給気電動シャッターの工事説明書を参照してください。

B 電動シャッターのみを取り付ける場合

図のように電動シャッターのコードを取り付ける。

電動シャッターは連動用コードが出ているボックスを壁側にして取り付ける。
運転時にシャッターが開きます。

ボックス
トラスタッピンねじ
（電動シャッター付属品）
（φ4×8）
電動シャッター
連動用コード
コードクリップ
（電動シャッター付属品）
連動用信号線
（本体より）
ファンボックス

※詳細は電動シャッターの工事説明書を参照してください。

C 給気電動シャッターと電動シャッターの両方を取り付ける場合

図のように給気電動シャッター連動用コードと電動シャッターのコードを取り付ける。

電動シャッターは連動用コードが出ているボックスを壁側にして取り付ける。

※詳細は給気電動シャッターと電動シャッターの工事説明書を参照してください。

トラスタッピンねじ
ボックス
コードクリップ
（給気電動シャッター連動用コード付属品）
電動シャッター
連動用コード
連動用信号線
（本体より）
給気電動シャッター
連動用コード
（FY-WW004）
ファンボックス